

令和3年度
施策評価結果

雫石町教育委員会

令和3年度 施策評価結果

施策大綱 1 学びを通して生きがいを感じるまち

基本施策名	施策名	担当課名	ページ
1-1 未来を担う子どもたちの生きる力を育むまちづくりをします	1-1-1 知・徳・体・公の調和のとれた教育を進めます	学校教育課	1
	1-1-2 安心安全な学校生活を送ることができる教育環境を整備します	学校教育課	1
1-2 生涯学習、生涯スポーツを通して誰もがいきいきと輝くちづくりをします	1-2-1 生涯学習の環境を整え活力ある地域社会をつくります	生涯学習スポーツ課	3
	1-2-2 いつでも誰でもスポーツに親しめる環境を整えます	生涯学習スポーツ課	3
1-3 歴史と文化を後世に継承するとともに郷土愛を育むまちづくりをします	1-3-1 文化芸術活動を通して生きる喜びと創造性や感性を育みます	生涯学習スポーツ課	5
	1-3-2 町に伝わる貴重な文化財の保存伝承に努め紹介します	生涯学習スポーツ課	5

第三次総合計画前期基本計画令和03年度施策評価結果

施策大綱	1	学びを通して生きがいを感じるまち	判定
基本施策	1-1	未来を担う子どもたちの生きる力を育むまちづくりをします	B
基本施策の目的	子どもたちが社会や生活が大きく変容していくこれからの時代を担うため、安全安心な学校教育環境を整え、知・徳・体・公の調和のとれた教育を進め、基礎的、基本的な学力の確実な習得と健やかな発育・発達を助けます。		

施策の進捗状況	施策 1-1-1 知・徳・体・公の調和のとれた教育を進めます	b
	不登校傾向生徒の割合がさらに増加し、肥満傾向にある男子児童生徒や視力が低い生徒の割合が少し増加傾向にありますが、学校の授業がわかる割合や体力は県平均を上回っています。いじめの状況も各学校で早期に把握しており、新たに地域との連携によるコミュニティ・スクール事業を各学校で導入し、学校運営協議会で熟議を行うなどほぼ計画どおりの成果であり、知・徳・体・公の調和のとれた教育を進める施策は概ね順調です。	
	施策 1-1-2 安全安心な学校生活を送ることができる教育環境を整備します	a
	西山小学校トイレ増設工事や雫石中学校特別教室棟給水管改修工事など学校施設を計画的に整備し、通学路等安全対策推進協議会での危険個所の合同点検を実施するなど安全対策に取り組んでいます。またタブレット端末を授業等で活用を始めており、県立雫石高校の支援においては、高校の存続と魅力を高めるために学校ホームページの見直しや雫石中学生との公営塾の共同実施、教科書購入費の全額助成などを新規で行い、改善や支援を拡充することができたことから、安全安心な学校生活を送ることができる教育環境を整備する施策は順調です。	
	施策	
施策		
施策		

施策目標（指標）の達成状況

指標名	数値区分	策定時	02年度	03年度	04年度	05年度	目標値
		01年度					
【知】学校の授業が分かる児童生徒の割合(小)	目標値	90	90	90	90	90	90
	実績値	94	92	87			
【知】学校の授業が分かる児童生徒の割合(中)	目標値	80	80	80	80	80	80
	実績値	80	79	74			
【徳】自己肯定感を持つ児童生徒の割合(小)	目標値	85	85	85	85	85	85
	実績値	81	76	73			
【徳】自己肯定感を持つ児童生徒の割合(中)	目標値	83	83	83	83	83	83
	実績値	75	73	64			
【体】運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合(小)	目標値	94	94	94	94	94	94
	実績値	94	93	86.5			
【体】運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合(中)	目標値	97	97	97	97	97	97
	実績値	94	95	90.55			
【公】自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合(小)	目標値	93	93	93	93	93	93
	実績値	93	94	97			
【公】自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合(中)	目標値	94	94	94	94	94	94
	実績値	88	98	95			

施策の課題

- ①不登校対策において、不登校傾向生徒の割合が増加しており、不登校傾向生徒を減らすための取組が必要となっています。
- ②保健分野において、肥満傾向にある男子児童及び男子生徒の割合が増加しており、肥満傾向の男子児童生徒を減らす取組が必要となっています。
- ③保健分野において、視力が裸眼で0.3未満の児童生徒の割合が増加しており、視力を低下させないような取組が必要となっています。

課題の改善策

- ①不登校の生徒が第一段階として自宅から学校に通学し、教室以外の適応指導教室(学校内別室)に登校できる生徒を増やし、徐々に教室に戻れるよう養護教諭やスクールカウンセラー、教育相談員などの専門家による教育相談の場を設け、教職員、保護者が粘り強く関わりながら不登校の生徒を減らす取組を強化していきます。
- ②肥満傾向にある男子児童生徒に対する保健指導を強化し、各学校においても体を動かしたり、運動する機会を増やす取組を強化していきます。
- ③児童生徒の視力が著しく低下しないよう、タブレット端末を使用した授業等において画面との距離を離したり、目を休めるなど健康に悪影響を与えないよう、タブレット端末を利活用する際のルールを徹底し学校や保護者に注意喚起を行います。

施策の方向性

- ①地・徳・体・公の調和のとれた教育を進め、確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生きる力を育む教育を継続します。
- ②児童生徒が安全安心な学校生活を送ることができる教育環境の整備を継続します。

第三次総合計画前期基本計画令和03年度施策評価結果

施策大綱	1	学びを通して生きがいを感じるまち	判定
基本施策	1-2	生涯学習、生涯スポーツを通して誰もがいきいきと輝くまちづくりをします	B
基本施策の目的	生涯学習・スポーツに取り組める環境を整え、誰もが生涯学習活動やスポーツに親しみ、いきいきと輝くまちづくりを進めます。		

施策の進捗状況	施策 1-2-1 生涯学習の環境を整え活力ある地域社会をつくります b
	新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館利用者や生涯学習等の事業参加者数は感染症発生以前より減となっており、機会の提供や確保の面では課題がありますが、施設環境を整えながら、コミュニティスクール発足後の各種取り組みや読書活動の推進、子どもたちの学びの機会の提供など、活力ある地域社会づくりに向けた取り組みは概ね順調です。
	施策 1-2-2 いつでも誰でもスポーツに親しめる環境を整えます b
	新型コロナウイルス感染症の影響による各種大会の中止など、施設の利用者数や事業参加者数は感染症発生以前より減となっており、機会の提供や確保の面では課題がありますが、施設環境を整えながら、競技スポーツの一定レベルの確保、鶯宿温泉スポーツエリア構想に基づく計画の策定と実施に向けた取り組みの進展など、いつでも誰でもスポーツに親しめる環境づくりに向けた取り組みは概ね順調です。
	施策
施策	
施策	
施策	

施策目標（指標）の達成状況

指標名	数値区分	策定時	02年度	03年度	04年度	05年度	目標値
		01年度					
町民一人当たりの公民館利用回数	目標値	7	7	7	7	7	0
	実績値	6.2	2.85	3.32			
町の運動・スポーツ施設利用者数	目標値	227,200	231,700	236,100	240,600	245,000	0
	実績値	210,051	143,056	119,845			
	目標値						
	実績値						
	目標値						
	実績値						
	目標値						
	実績値						
	目標値						
	実績値						

施策の課題

- ・生涯学習及びスポーツ拠点施設の機能を維持していくために、経年劣化に対応し長寿命化を図る必要があります。
- ・コミュニティスクールと地域学校協働活動に対する理解を促進し、住民が活動に参画しやすい環境をつくっていく必要があります。
- ・生涯学習及びスポーツ事業の実施にあたっては、随時見直しを行い、多様なニーズを反映して多くの住民が参加できる環境をつくっていく必要があります。
- ・スポーツによる交流人口の増加と地域活性化のために、鶯宿温泉スポーツエリア構想に基づく計画の着実な実行が必要です。

課題の改善策

- ・施設及び設備については、日常的な点検、また雫石町公共施設等総合管理計画に基づき計画的かつ適時の修繕等を実施します。
- ・コミュニティスクールと地域学校協働活動については、広報教育しずくいしやコミュニティスクール通信による情報提供や周知、関係者への研修会等への参加を促します。
- ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら、現代的課題やニーズに合った事業の開発と企画運営を行います。
- ・鶯宿温泉スポーツエリア整備計画に基づきアーチェリー屋内射場の整備を進めるとともに、振興計画に基づきエリア内のスポーツ及び観光施設等との連絡協調を継続しながら、各種スポーツ大会の企画運営や誘致活動を行います。

施策の方向性

生涯学習、生涯スポーツを通して誰もがいきいきと輝くまちづくりに向けた取り組みを継続します。

第三次総合計画前期基本計画令和03年度施策評価結果

施策大綱	1	学びを通して生きがいを感じるまち	判定
基本施策	1-3	歴史と文化を後世に継承するとともに郷土愛を育むまちづくりをします	B
基本施策の目的	歴史や文化財の保護や保存と文化芸術活動の振興を図り、触れる機会や学ぶ機会、観る機会などを創出し、郷土しずくいしへの愛着や理解を深めるとともに豊かな心を育みます。		

施策の進捗状況	施策 1-3-1 文化芸術活動を通して生きる喜びと創造性や感性を育みます	c
	新型コロナウイルス感染症の影響により、総合芸術祭をはじめ、多くの事業が中止を余儀なくされるなど、発表・鑑賞の機会が思うように提供できない状況にあり、また機会の減少によって関係団体や組織の日頃の活動にも影響が及んだことが推測されることから、文化芸術活動を通して生きる喜びと創造性や感性を育むことに向けた取り組みには課題があります。	
	施策 1-3-2 町に伝わる貴重な文化財の保存継承に努め紹介します	b
	新型コロナウイルス感染症の影響により、民俗芸能の保存伝承や学習機会提供の面では課題がありますが、指定文化財を適切に保護保存し、学びの拠点として歴史民俗資料館の施設環境を整えながら運営しており、町に伝わる貴重な文化財の保存継承に努め紹介する取り組みは概ね順調です。	
	施策	
施策		
施策		

施策目標（指標）の達成状況

指標名	数値区分	策定時					目標値
		01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	
雫石町総合芸術祭総入場者数	目標値	1,220	1,240	1,260	1,280	1,300	0
	実績値	1,022	1,169	0			
雫石町無形文化財芸能祭出演団体数	目標値	13	14	14	14	14	0
	実績値	12	0	0			
	目標値						
	実績値						
	目標値						
	実績値						
	目標値						
	実績値						
	目標値						
	実績値						

<p>施策の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動の意欲を高めるため、活動のきっかけづくりとして、そして創造性や感性を育むため、発表・活動の機会を確保するとともに、優れた芸術の鑑賞機会を提供し続けていくことが必要です。 ・民俗芸能については、伝承活動の困難さが増している中においても、活動を継続し後世につないでいけるよう支援を行っていく必要があります。 ・町の歴史や文化に関する学習拠点施設の機能を維持していくために、歴史民俗資料館の施設及び設備の経年劣化に対応し長寿命化を図る必要があります。
<p>課題の改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら、できる限り工夫して発表・鑑賞の機会を創出するとともに、引き続き学校その他町民への質の高い鑑賞機会の提供に努めます。 ・民俗芸能保存団体との連絡協調により、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながらの練習や公開機会の創出による保存伝承を進めます。 ・歴史民俗資料館の施設及び設備については、日常的な点検、町公共施設等総合管理計画に基づき計画的かつ適時の修繕等を実施します。

<p>施策の方向性</p> <p>歴史と文化を後世に継承するとともに郷土愛を育むまちづくりに向けた取り組みを継続します。</p>
